

# 悪質な消火器点検業者に注意！

消防用設備等の適正な維持管理等については、消防法令による定期点検、点検報告の制度に加え、消防用設備等点検済表示制度を通じ、点検実施者の責任の明確化、その資質の向上、防火対象物の関係者等による点検の確実な履行の促進が図られているところです。

最近、防火対使用物に設置されている消火器について、次のような手口の点検を行う業者により、不適切な点検の実施、消火器の未設置状態、不当に高い点検手数料の請求などのトラブルが発生している事例が散見されます。

これらのことから、会員事業所の皆様には被害に遭わないために十分に注意するとともに、万一被害に遭われた場合には、速急に消防本部及び警察署へ通報してください。

## 【悪質な消火器点検業者の手口】

### 1.狙われる防火対象物

- ・消火器を多数設置している防火対象物を狙う
- ・支店、出張所等の出先事業所
- ・スーパー、百貨店等の店舗数の多い事業所
- ・私立の学校、幼稚園その他の施設

### 2.出入りの点検業者を装う

- 「 日、消火器の点検に伺います。」
- 「消火器の点検にきました。」
- 「いま、 店にいますが、 時頃、そちらの点検に行きます。」
- などと、出入りの点検業者を巧妙に装い、関係者を信頼させる。

### 3.集める・調べる

- ・点検の承諾を得ると、施設内の消火器を素早く集める。
- ・どの業者がいつ点検しているかを把握して、点検の理由づけをして契約書を作成する。

### 4.契約書に署名を求める

- ・窓口で「消防用設備点検等契約書」に署名又は押印を求める。
- ・出入りの点検業者と関係ないことや、点検等の理由づけがいつの間にか記入され、一見、合法的な契約書になっている。

### 5.代金を請求する

- ・点検用車両に消火器を積載して持ち帰り、頃合いをみて請求書を提出し支払いを求める。
- ・製造年月3年以内の消火器(原則として機能点検を要しない)を全数機能点検の代金を請求する。
- ・金額が著しく高額である。
- ・勘違いにより点検を依頼した旨を告げると「契約書」を示し、合法的な契約であることを主張する。



## 【事 例】

薬品会社 係長

「消火器の点検に来ました」と言って窓口の女性事務員に契約書(B5判の半分程度の用紙)にサインを求め、消火器32本を集めて持ち帰った。数時間後、消火器を持参、薬剤詰替代金の支払いを求められたが、不当に高額であったため社内で責任問題となり紛糾した。

会社の信用問題もあるので、不当な請求を承知の上で支払いした。

請求金額 消火器詰替 32本 516,000円

## 【事 例】

私立学校 教頭

休日、学校に電話があり、当直事務職員が受けたところ「いまから消火器の点検に行きます。」と言うのでいつもの点検業者だと思い承諾した。数分後に3人が事務所窓口に来たので事務職員がサインした。

2時間後に集金に来るというので内容を確認したところ、高額であることに驚き、警察や弁護士にも相談した。騙されたのだから支払い義務はないとの見解だったが、点検業者から、裁判所に訴えろとか、その他の脅迫的な言動もあり、あとあと面倒と思い支払うこととした。

請求金額 消火器詰替 65本 詰替 1,477,000円

## 【被害に遭わないために】

相手を必ず確認すること。(身分証明の確認をする)

見積もりを出してもらおう。(必ず点検料の確認をする)

上司に確認する。(日頃、契約を依頼している点検業者が確認する。)

サインするときは必ず書類を確認する。(契約書を折り曲げるなどしてサインを求めることが多い)

## 【誤って承諾した場合】

請求金額の値引きを要求しない。契約を認めることとなる。

料金をその場で支払わない。支払の約束をしない。

まぎらわしい表現に対し契約の無効を主張する。

消防本部及び警察署へ通報する。